

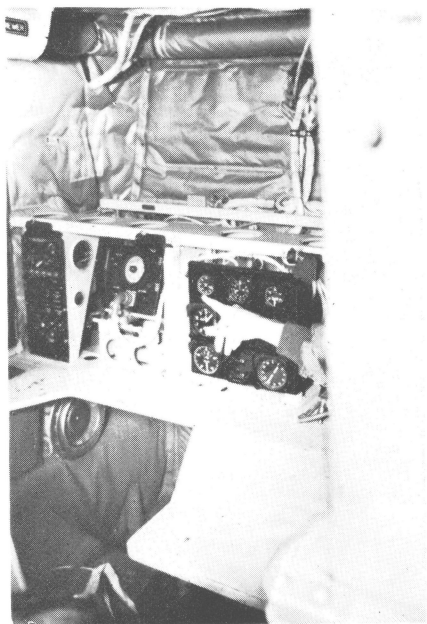
WB-66 ジェット気象偵察機

(中村 勝氏 撮影)

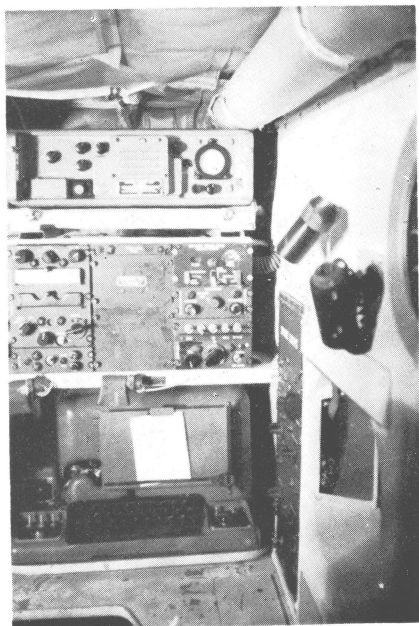
1959年6月6日、羽田国際空港で、上機が気象技術者に公開された。



双発ジェット機であって乗員数5名、うち操縦関係の3名がフロント・グラスの部分に、無電士と気象観測員が翼の付け根あたりに見える 四角形の脱出口の部分に乗る。頭部最先端に突出している棒状のものは速度計、頭部下部の黒色の部分にレーダー・アンテナが入っている。胴体の文字“FORCE”のFOの下に空気取入口、翼の付け根の下にカメラ・アイがある。



観測員席、左側に見えるメーター盤で気象データを読みとる、指さしているのは速度による気温補正メーター



無電士席、下に見えるのはラジオ・テレタイプ、上は無録機。